

堆肥センターの堆肥の放射性物質測定結果

野田市では、市内全域から剪定枝や草等を受け入れ、堆肥の資源としている野田市堆肥センターの堆肥の安全性を確認するため、放射性物質の検査を実施しました。

この結果、「現在、出荷している堆肥」や「2月以前に受け入れ破碎した剪定枝等」の放射性物質は低い濃度でしたので問題はないと考えられることから、今後も継続して出荷や堆肥化を行ってまいります。しかし、「3月以降に受け入れをした剪定枝等」の破碎チップからは高い濃度の放射性物質が検出されたため、出荷等は行わず、今後、処分方法を検討してまいります。

なお、現在実施している剪定枝、草・落ち葉の受け入れについては、当面継続いたします。

検査結果(採取日は平成 23 年7月4日)

No.	品 目	放射性ヨウ素 131	放射性セシウム (134 と 137 の合計値)
1	出荷中 平成 21 年9～10 月搬入の剪定枝等	検出せず	23
2	出荷直前 平成 21 年 11～12 月搬入の剪定枝等	検出せず	18
3	原発事故の前 平成 23 年2月搬入の剪定枝等	検出せず	50
4	平成 23 年3～4月搬入の剪定枝等	検出せず	2,170
5	平成 23 年5～6月搬入の剪定枝等	検出せず	1,563
6	平成 23 年7月搬入の剪定枝等	検出せず	2,500

単位:ベクレル/kg

【問合せ】 農政課(内線 2342,2344)

